

## 『あなたは終わりまで歩み…』(ダニエル書 12章1-13節) 2022.3.20.

<はじめに> ダニエル書も最後の章を迎えました。一見、不可解に見える幻に忍耐をもって向き合ってください感謝します。すべてを理解できなくても、その中から何かに気づき、取り組むことができれば幸いです。

### I 終わりの時に

#### ① 苦難の時(1)

完成と繁栄へと真っ直ぐ向かい、終わりに至る絵を描きたいと願いますが、ダニエルが見た幻は、かつてない混乱と苦難の極致が終わりの時に来ると語ります。反神・反キリストの力が聖なる民の力を打ち砕きますが、それも永続せずに終わりを迎えます(7)

#### ② いつ終わるのか(5-7、11-12)

至高の神を信じる者には、苦難の時は不思議・不可解に思われます。亜麻布の衣を着た人は受肉前の御子なる神です(10:5-6)。永遠の神から見れば、苦難の時は「一時と二時と半時」(7、7:25、黙示 12:14)で、長短を繰り返しても暫しの間のみ、必ず終わります。

#### ③ 立ち上がる時(1、7)

その時に、守護天使ミカエルが神の民を守るために立ち上がります。神の呼び掛けに応答した者は神の書物に登録され、みな救われます。神はすべての人を救おうと願われています(I テモ 2:4)が、個人的な受容と応答によって確かにされ、すべて成就します。

### II あなたは…歩み

#### ① 目を覚ます時(2-3、10)

ちりの中に眠っている死者の中から、あの書に記されている者は永遠のいのちに、そうでない者は恥辱と永遠の嫌悪によみがえります。この二極化は生きている時から始まっています(10、黙示 22:11)。ですから、終わりの時まで方向転換しなければなりません。

#### ② 賢明な者(3、10、9:22、11:33-35)

「賢明」は本書の大切な語の一つです。知識(4)や要領の良さよりも、時機を弁え、見分ける洞察力です。今がどのような時で、何を為すべきかをとらえて、適切に行う資質です(マタイ 24:45-51)。その人は自分だけでなく、多くの者を神の義の道へと導きます。

#### ③ 神は報われる(3、12-13)

賢明な者に神が保証されているのは報いです。「輝き」「星」は天的栄光を示します。一人ひとりに神は道を備え、導き、割当地を備えておられます。それが自分の願い通りではなくても、主は時の終わりに、さらに優るものを与えられます(II テモテ 4:6-8)。

### III ダニエル書が語ること

#### ① 神は生きておられる

神を認めない国と支配者の下で、囚われの身ながら神を信じて生き続けるのは至難です。しかし祈りと信頼を誰も止められません。生ける神はその祈りを聞き、答えられます。「私の神は今も生きておられる」と告白し、逆風下でもそれを掲げる者を神は見捨てません。

#### ② 神は治められる

支配者や力ある者が時代を席卷しようとも、それもしばらくの間です。神はすべてを治められ、その計画は揺らぐことなく着実に実現します。試練や困難が信仰者を悩ませますが、それも私たちが身を清め、白くし、鍛えられる(10、11:35)ため、救いは確約されています。

#### ③ 封印はやがて解かれる(4、9)

この幻のすべてをダニエルも理解できず、むしろ封印するために託されました。そして、封印が解かれる終わりの時が近づいています(黙示5-8章)。私たちは聖書のことばと時のしるし(マタイ 16:3-4)を賢明に読み取り、生ける神の御心に歩ませてください。

<おわりに> 本書に取り組む間にも、私たちを取り囲む世界と状況は大きく動きました。これからも動くことですが、それはすべて天の神、主の御手の中であることをダニエル書から学びました。主を仰ぎ、忍耐と信仰をもって終わりまで歩む者に、主は報われる御方です。(H.M.)